



厳しい財政状況の中で、平成16年度の予算編成作業が進められています(町企画財政課)



佐藤照彦議員

16年度予算

新年度の予算編成方針は

歳出総額を厳しく抑制する

質問 平成十六年度の予算編成についての基本方針、重点施策、財政措置について説明されたい。

沼崎町長 新年度予算編成の基本方針は、次の五点である。

- ①歳出総額を十五年度の水準以下となるよう厳しく抑制する。
- ②第七次総合発展計画事業については、行革推進本部での見直しを受け、最優先で実現を図る。
- ③町債については、臨時財政対策債分を除いた発行額を、当該年度の元金償還額以下に努める。
- ④三位一体改革は具体化されていないが、国庫補助負担金は本町にとって重要な財源であり、情報を正確に把握し、財源の確保に努める。
- ⑤新年度予算執行にあたり、積極的な創意・工夫により節減できる経費を、企画財政課預かりとし、翌



建設計画の見直しが検討されている町営住宅柳沢第1団地

質問 二年前、町財政の悪化を懸念し、大型プロジェクト事業の大胆な見直しを提言した。特に町営住宅は、七棟建設予定を二棟



三ヶ尻隆雄議員

町営住宅建設

柳沢団地建設見直しの検討結果は

7棟から5棟に計画変更の協議中

にし、民間に委ねるべきなどの質問に、抜本的検討するとの事であったが、その後どのようなようになったか。

沼崎町長 プロジェクト事業のうち、柳沢第一団地の建て替えは、平成十九年まで毎年一棟ずつ、七棟、百四十二戸の建て替え計画が進めてきたが、財政状況が厳しいことから二棟目については平成十四、十五年の二カ年継続で施行した。

現在、策定中である「山田町営住宅総合ストック活用計画」で公営住宅の管理戸数、建て替え戸数及び住戸改善などについて検討している。柳沢第一団地の建て替えについては、当初計画である平成十九年度までの七棟百四十二戸の建設を平成二十五年まで延長し、建設戸数も五棟百八戸で県建築住宅課と協議中である。

また、柳沢北浜地区土地区画整理事業の施行期間

議員12人が一般質問

は、平成二十三年度まで四カ年の延長で計画変更を進めている。

さらに、公共下水道についても、現在見直し作業を進めている段階である。

合併問題 単独で生き残れるか 生き残りのため全力を傾注

質問 全国で多数の市町村が合併に一刻と傾く。危機感を持ち合併推進を提言してきたが、町長は単独の道を選択し、一年も経たないで更なる財政悪化に苦慮し、財政健全化計画の策定中と聞く。本当に自立して行ける揺ぎ無い自信が今でもあるか。

沼崎町長 私は、「自立の道を選択することが決してばら色の未来を約束する事ではない」と申し上げてきたつもりである。現時点で何人の首長が自立の選択をされたか分からないが、

「合併は財政だけの問題で進めるのではなく志をどう持つかが大切である。特例債は借金であり、将来のため使い方を充分考慮する必要がある」との趣旨で、私も同感である。特色ある町づくりをしながら財政は厳しくとも、町民と共に山田町の生き残りのために全力を傾注していきたい。



地域総合病院としての規模と機能の充実が望めます(県立山田病院)

山田病院の整備充実を

町民による署名運動を展開

と行動力を示してもらいたい。

沼崎町長 新山田病院の規模、診療科目などについては、まだ示されていないが、「県立病院改革基本プラン(案)」の動向を見ながら検討されるものと考えている。

新山田病院は本町医療の中核施設として期待しているし、診療体制の整備充実を求めていかなければならないと思っている。そのため、これまでも医療局や岩手医科大学に要望してきた。今後の要望活動のひとつとして、町民による署名運動の検討を進めている。

質問 県医療局は、五年間で十二病棟七百二十床の削減を柱とする県立病院の大リストラ計画「県立病院改革基本プラン(案)」を明らかにした。来年度は三病棟百八十床の削減を計画しており、年内には削減対象の病院を明らかにするとしている。